

「第 14 回須磨区長杯小学生ドッジボール大会競技ルール」

1 チーム及び競技場

- 1 チーム役員として、監督・コーチ・マネージャーを登録（各 1 名が上限で役員の併用は可）
- 2 プレイヤーは 12～23 名の男女混合とする。
- 3 チームはキャプテンを 1 名任命すること。
- 4 プレイヤーのユニフォーム
任意の統一したユニフォームを着用すること。（学校の体操服でよい。）
- 5 靴は体育館シューズなど室内用運動靴を履くこと。（学校の上靴でもよい。）
- 6 ゲームは 12 人対 12 人で行う。（当日欠席者がある場合、12 名以下でも可。）
- 7 各試合におけるプレイヤーは必ず男女混合でなければならない。
- 8 コート及びコートサイズ **別 図**のとおり
- 9 試合球は、モルテン S F D B N 日本ドッジボール協会練習球を使用する。
- 10 競技場内とベンチには、監督・コーチ・マネージャーの 3 名とプレイヤー以外は入れない。

2 競技方法

- 1 試合は 5 分 1 セットで行う。（予選リーグ）
セットの途中では、特別な事情以外選手交代はできない。2 セットを行う試合のみセットごとの交代は可能とする（交代は同姓のみ）。なお、ロスタイムについては、主審の判断とする。
- 2 予選は 3～6 チームによる変則リーグ戦で行い、各チーム 2～4 試合。
- 3 決勝は各リーグ 1 位のチームによるトーナメントで行う。（2 セットを行う試合のみ 4 分 2 セットで行う。）
- 4 勝敗はゲーム終了時に、自チームの内野に残った人数を得点、相手の内野に残った人数を失点とし、得失点の多い方が勝ちとする。
- 5 予選リーグ得失点と同点の場合は、引き分けとする。
決勝トーナメント同点の場合は、延長戦として 3 分 1 セットを行う。さらに同点の場合は、出場選手 12 人対 12 人で抽選を行い、勝敗を決める。
- 6 ゲームの開始時外野に 1 名以上 11 名以下に配置する。
- 7 予選は勝ち点（勝ち：2 引き分け：1 負け：0）が高い方が上位。
勝ち点と同点の場合は、得点率（総得点 / （総得点 + 総失点））が高い方が上位。
勝ち点・得点率が同じ場合は、5 人対 5 人で抽選を行う。

3 プレイの規定

- 1 試合開始時のボールの支配権はキャプテンのじゃんけんで決める。2 セットを行う試合は、第 2 セットは、反対側チームのボールとします。
- 2 外野は、相手の内野に当てると内野に入ることができる。
☆ 当てたらその時点で、すぐに入らなければ内野への復帰権を失う。
☆ 相手の内野を当てた後にボールに触れた場合は、内野への復帰権を失う。
☆ なお、外野に 1 人しかプレイヤーがいない場合は内野に復帰できない。
☆ ただし、相手の内野プレイヤーを全部アウトにして試合が終了する場合は、外野を 0 人にして戻ることができる。
- 3 試合開始時の外野プレイヤーもアウトを取らなければ、内野へ復帰できない。

- 4 内野で、相手の投げたボールに当てられた場合は、速やかに外野に出る。
- ☆ 外野への移動時はボールデッドゾーンを通らなければならない。
 - ☆ 2名以上のプレイヤーが続けて当てられた場合、最初に当てられたプレイヤーがアウトの対象になる。
 - ☆ 当たったボールが地面につく前に自身または味方のプレイヤーがファールなくキャッチした場合はセーフ。ただし、味方のプレイヤーがファールをしてキャッチした場合、及び、相手のプレイヤーがキャッチした場合はアウト。

4 ボールの支配権

- ☆ コート外に出たボールは、最後にボールに触れたプレイヤーの相手チーム内野ボールとする。ただし、最後にボールに触れたプレイヤーが外野の場合、外野に来たボールにファールをすることなく手で触れた場合、そのプレイヤーに支配権が発生する。
- ☆ 次の場合は相手ボールになる。
 - * (内野・外野とも) ボールを保持したまま、ラインを踏んだり超えたりしたとき。投げたとき、取ったときも同様とします。ただし、ライン上(空中)にあるボールを受けても、ラインを踏んでいない場合は、セーフとする。【オーバーライン】
 - * 試合開始及び再開時に、ボールを持っているプレイヤーが自エリア内で静止したボールを頭上に挙げなかった場合。また、試合再開時主審のホイッスル前に投球した場合【フライングスロー】
 - * 頭部(首から上)への攻撃。【ヘッドアタック】
 - * 相手コートにあるボールを、手などで引き寄せる。【ホールディング】
 - * アウトになったプレイヤーが外野に移動中に、自エリア内で自ら再びボールに触れた場合。【ダブルタッチ】
 - * 味方同士のパスで、故意に試合を遅らせていると主審が判断した場合。【遅延行為】
 - * 同一チームの内野同士のパス及び外野同士のパスで、相手のコートを交差しない場合。【ダブルパス】

5 試合再開

- ☆ 内野から試合再開する場合は、ボールを持っているプレイヤーが自エリア内で静止し、ボールを頭上に挙げて主審のホイッスル後に投球する。
- ☆ 外野から試合を再開する場合は、ワンタッチしたプレイヤーまたはターンオーバーしたボールを持ったプレイヤーが、自エリア内で静止したボールを頭上に挙げて主審のホイッスル後に投球する。

別 図

